

憲法9条フォーラム in 岡山

日本科学者会議岡山支部は、「憲法九条フォーラムin岡山」を、2006年3月10日(金)、14時から17時30分まで、岡山大学創立50周年記念館にて開催した。

現在、「憲法改正国民投票法案」が国会に提出されようとし、このような「改憲」により、「軍隊」が作られ、日本が堂々と戦争に荷担する国にされようとしている。岡山支部では、これに対する危機感から、憲法九条の価値をいろんな角度からあらためて学ぶ機会を作るため、「憲法九条フォーラムin岡山」の開催を2006年度の当初より企画した。また、このフォーラムを日本科学者会議40周年記念の支部事業と位置づけた。

岡山支部では、全国幹事および事務局長を含む十数名の幹事が、月に1回集まって幹事会を開き、講演会などの企画や支部の運営などについて話し合っている。「憲法九条フォーラムin岡山」の開催日時、講師の選定など具体的な企画については、2005年12月の幹事会より話し合いを開始した。幹事それぞれ自由に意見を出して、講師の選定や、講演内容や順序について話し合った結果、科学者と憲法九条、戦時体験、米軍と自衛隊、憲法問題という流れでまとまった。講演の交渉の際には、全く面識のない方に対しても、無礼を省みず直接電話等でお願ひしたにもかかわらず、どの方も快く引き受けていただいた。

岡山支部では、「よもやま話の会」と名付けて、ほぼ月1回、JSA会員だけでなく非会員、学生、市民に対しての講演会を開催しているが、「憲法九条フォーラムin岡山」開催前月の2月13日の「よもやま話の会」は、プレシンポジウムと位置づけ、広島支部の市川浩氏を招き、原爆開発計画についての大変興味深い講演をしていただいた。

当日は、教職員、学生、市民など約50名が参加し、以下の内容の講演が行われた。

宗川吉汪氏(『日本の科学者』編集委員長・生命生物人間研究事務所)は、「憲法九条と科学者」と題し、北朝鮮から送られてきた横田めぐみさんとされる遺骨について、火葬さ

本号のハイライト

- ・ 憲法9条フォーラム in 岡山
- ・ 憲法9条フォーラム今後の予定
 - < 16総学プレシンポジウム & 大阪支部憲法9条フォーラム >
「日米安保をなくしアジアの平和を展望する」
 - < 2006年憲法記念日 市民のつどい(鹿児島支部) >
講演「おくにことばで憲法を いまこそ輝け日本国憲法」

れた遺骨のDNA鑑定は不可能なことが明らかにもかかわらず、日本側が「DNA鑑定の結果」他人のものと判明したと主張して外交交渉を行ったことを強く批判し、科学的な見方が欠如している問題の重さを指摘した。

松岡健一氏（水島協同病院名誉院長）は、「私の戦時体験」と題し、軍国主義教育を受けた少年時代と、広島の実爆者の救護にあたった旧制高校時代の体験を語った。そして、戦後の日本の復興の中で、憲法九条の大切さを心の底から感じ、世界で唯一の被爆国民として九条を守り抜かなければならないと語った。

中尾元重氏（岡山県平和委員会会長）は、「米軍再編と自衛隊 - 専守防衛から外征軍へ」と題し、米国の軍事戦略の中で、自衛隊が国民にほとんど知らされないうちに「同盟軍」として整備されてきた過程をたどり、現在、新「防衛大綱」と新「中期防」において、海外派兵を本務とし、最前線で戦う「自衛」隊が作られようとしていることを述べた。

山口和秀氏（岡山大学大学院文化科学研究科教授・憲法学）は、「憲法改変の策動」と題し、自民党新憲法草案の前文や条文において、日本が米軍と一緒に戦争ができるようにすること、それに国民すべて協力しなければならないことが盛り込まれていると述べ、「既成事実だから憲法改変しよう」とか「変えても現状維持だ」などという宣伝には決してだまされず、その危険なねらいを見定めるべきであることを強く訴えた。

終了時刻ぎりぎりまで熱心な討論が交わされ、後の懇親会にも30名近くが参加し、さらに議論し、かつ懇親を深めた。限られた予算と人手の中で行い、多くの不備はあったものの、講演者と参加者の熱意に支えられ、有意義な会にできたと感じている。

（岡山支部 村上賢治）

16総学プレシンポジウム & 大阪支部憲法9条フォーラム 「日米安保をなくしアジアの平和を展望する」

日時：2006年4月30日（日） PM 1:00～5:00

会場：クレオ大阪東（大阪市立男女共同参画センター東部館）研修室

- ・JR大阪環状線・東西線・学研都市線「京橋駅」（南口）から南へ徒歩約7分
- ・地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅（4番出口）から東へ徒歩約9分
- ・京阪「京橋」駅（中央口）から南へ徒歩約11分
- ・市バス「鳴野西1丁目」下車、徒歩約2分

主催：日本科学者会議平和問題研究委員会・日本科学者会議大阪支部

趣旨：いま日本はアメリカの世界支配の野望に加担し、世界平和推進の側から破壊の側に回ろうとしている。いま憲法9条を変え軍隊を持つことは、単に他の軍事保有国の仲間入りすることではない。世界は急速に戦争のない世界を求め始めており、それを妨害しているのが超大国のアメリカである。そのアメリカに軍事的な加担をすることは世界から歓迎もされず尊敬もされないであろう。

今こそ日本の進路について、情勢と展望を語りそれを広めていきたい。

- プログラム -

オープニング 岩国住民投票報告（日比谷3・19中央集会）ビデオ上映
開会挨拶・趣旨説明 河井智康氏（平和問題研究委員会委員長）
セッション

- 1．米軍基地再編の危険性と矛盾
亀山統一氏（沖縄支部・琉球大学）
今野 宏氏（神奈川支部・元横浜国立大学）
- 2．日米安保とアメリカの世界戦略の危険な役割
- 核兵器廃絶と9条を守る取組みの共同を目指して -
沢田昭二氏（愛知支部・元名古屋大学）
- 3．アジアの平和と日本国憲法
金子 勝氏（東京支部・立正大学）
- 4．東アジア共同体と日本の針路
中川益夫氏（大阪支部・元香川大学）

全体討論

資料代：500円

終了後、有志で交流会を予定しております（参加実費）

問い合わせ先：日本科学者会議 Tel.03-3812-1472 Fax.03-3813-2363 mail@jsa.gr.jp
日本科学者会議大阪支部 Tel&Fax.06-4800-0288 jsaosk@yahoo.co.jp



2006年憲法記念日 市民のつどい（鹿児島支部）

日時：2006年5月3日（水） PM 2:00～4:00

会場：かごしま県民交流センター県民ホール

- ・市電「水族館口電停」下車徒歩4分
- ・JR「鹿児島駅」下車徒歩10分
- ・バス「水族口」下車徒歩5分

主催：「憲法記念日市民のつどい実行委員会」（以下の6団体で構成）

青年法律家協会鹿児島支部
日本科学者会議鹿児島支部
生活協同組合コープかごしま
鹿児島大学生生活協同組合
鹿児島医療生活協同組合
非核の政府を求める鹿児島県民の会

趣旨 津軽から沖縄まで各地の言葉で読む憲法。憲法が親しみのあるあたたかいお国言葉の響きで語られることで、より身近に感じられるようになる。そんな方言で語る憲法を本やCDとして出版された女優・方言指導者の大原穰子さんをお招きし、あらためて「平和」と「憲法」について考える。

- プログラム -

2:00～2:10 実行委員長挨拶

2:10～3:10 講演「おくにことばで憲法を いまこそ輝け日本国憲法」
講師 大原穰子氏

3:10～4:00 全体討論（質疑応答）

問い合わせ先：生協コープかごしま組織支援本部内 事務局 Tel.099-286-1115

